

# 荻窪法人会 会報

OGIKUBOHOJINKAI BULLETIN

AUGUST 2011



荻窪に住んでいた偉人たち

## 朝永振一郎



# CONTENT

## 3 第38回通常総会

会長あいさつ ◎ 小竹良夫 荻窪法人会 会長  
来賓祝辞 ◎ 竹本節子 荻窪税務署 署長

## 6 新理事紹介

## 9 新常任理事ごあいさつ

- ◎ 岸岡秀直 厚生事業委員委員長
- ◎ 河又雅之 第2ブロック長
- ◎ 秦 寿吉 第4ブロック長
- ◎ 嶋 信介 第5ブロック長

## 11 着任のごあいさつと幹部のご紹介

- ◎ 齋藤 修 荻窪税務署 署長
- ◎ 中村直樹 荻窪税務署 法人担当副署長

## 12 本音トークの座談会S E R I E S

### 新ブロック長座談会

楽しくないと人は集まらない。  
名目だけではなく地域と一緒にコラボを。

## 18 岸岡秀直 厚生事業委員長インタビュー

「人生において『誠』と『氣』の二文字を大切にしています」

## 20 第38回 通常総会 特別講演会

『歴史とエコロジーから見た東京の特徴』

◎ 講師：陣内秀信 法政大学デザイン工学部教授

## 22 【連載企画】第24回 今話題の東日本大震災に係る義援金等

◎ 小林誉光 税制副委員長

## 24 e-Taxの現状

◎ 前田薫範 e-Tax普及推進委員

## 26 e-Tax推進税理士事務所について

## 27 青年部会 第37回 通常総会

◎ 水島隆明 青年部会 副部会長

## 28 女性部会 第35回 総会

◎ 織茂育代 女性部会 副部会長

## 29 源泉部会 第37回 総会

◎ 三澤次郎 源泉部会 幹事

## 30 委員会・部会報告

- 厚生事業委員会
- 女性部会
- 源泉部会
- 青年部会

## 31 使用済みカートリッジ・トナーで被災地支援を 「エコキャップ」で子どもたちにワクチンを



朝永 振一郎（ともなが しんいちろう）

1906年（明治39年）3月31日 - 1979年（昭和54年）7月8日）は、日本の物理学者。くりこみ理論の手法を発明して量子電磁力学の発展に寄与した功績によってノーベル物理学賞を受賞した。荻窪の西田小学校のそばに住んでいた時期がある。

# 第38回 通常総会



第38回総会の様子。

荻窪法人会第38回通常総会が5月24日（火）杉並公会堂小ホールにて行われ、通常総会の議案の第1号議案から第6号議案も滞りなく承認されました。また、来賓には竹本節子荻窪税務署長をはじめ井上正杉並都税事務所長などの方より祝辞を頂きました。新委員長には2名が就任。新ブロック長に3名が就任。

社団法人荻窪法人会第38回通常総会が5月24日（火）に杉並公会堂小ホールで行われました。出席社総数1464社、内委任状提出社1329社、会員総数2337社で過半数を超え総会は成立し第1号議案から第6号議案が上程されました。

開会は井口一与副会長の開会のことばで始まり、小竹良夫会長を議長に選出し議事進行の結果、第1号議案から第6号議案まで承認されました。今年度は役員改選期（第6号議案）にあたります。会長には小竹会長が再任し、2期目を迎えることになりました。執行部も新たに選出され、新厚生事業委員長に岸岡秀直前組織副委員長が、新税制委員長には山下民子前厚生事業委員長が就任しました。

総会議事終了後、会員増強優秀支部

感謝状や優良経理職員表彰状の授与が小竹会長により行われました。

来賓の竹本節子荻窪税務署長をはじめ井上正杉並都税事務所長などから祝辞をいただきました。

保坂房雄副会長の閉会のことばを最後に総会は無事に終了しました。

- 第1号議案 平成22年度事業報告承認の件
- 第2号議案 平成22年度収支決算報告並びに監査報告承認の件
- 第3号議案 平成23年度事業計画案承認の件
- 第4号議案 平成23年度収支予算案承認の件
- 第5号議案 新公益法人移行方針の承認の件
- 第6号議案 任期満了に伴う理事及び監事改選の件

# 会長あいさつ

社団法人荻窪法人会 会長 小竹良夫



法人会が、今年1年スムーズに活動できたのも  
皆様のお陰だと感謝しています。

皆さま、こんにちは。本日は社団法人荻窪法人会第38回の総会に会員の皆さま、多数ご参加いただきまして、まことにありがとうございます。また、荻窪税務署からは竹本署長はじめ署の幹部の皆様方、そして、関係団体からご来賓の皆さま、本場に公私ともにお忙しいところをご出席、ご臨席をいただきまして厚く御礼を申し上げます。

さて、荻窪法人会の昨年でございますけれども、ちょうど60周年ということもございまして、大変に活発な事業が展開できたのかなと思っております。また、非常にすばらしい実績も上げることができたと思っております。これはひとえにやはり、会員である皆様方の法人会に対するご理解と、また参加意識が高いということ、会を運営しております役員の皆様方の献身的なご尽力、そして、ご当局の適切なご指導によるところであるということでございます。また、あらためまして、この席を借りまして御礼申し上げる次第でございます。

今年度でございますけれども、この3

月11日の大震災がありまして、今後、復旧、復興ということでもたぶん政治的にも、あるいは経済的にも非常に困難が予想されております。そういう中で荻窪法人会は法人会の理念ですとか、あるいは目的というものを基にしまして、また荻窪法人会の良き伝統を継承していくという形で新年度も進んでい

くんであろうと思っております。ぜひ、皆様方の、引き続きのご協力をお願い申し上げます。なんでも、本日は総会の方の議事が非常にたくさん立て込んでおりますので、これをもちましてあいさつに代えさせていただきますと思います。本日はありがとうございます。



竹本署長よりe-Tax利用促進の取り組みに対して感謝状を贈呈される小竹会長。

# 来賓祝辞

荻窪税務署 署長 竹本節子

皆さまの今までの活動、エネルギーを次の世代に、「たすき」として、それを引き継いでいただけたらと思っております。

荻窪税務署長の竹本でございます。本日は、第38回 社団法人荻窪法人会通常総会にお招きいただき、誠にありがとうございます。

荻窪法人会の皆様には、常日頃から税務行政に対しまして、深いご理解と多大なるご協力をいただいております。深く御礼申し上げます。

荻窪法人会第38回通常総会に当たり、一言お祝いを申し上げます。

本日ここに通常総会が挙行され、平成23年度の事業計画を始めとする全ての議案が滞りなく可決、承認されましたことを、心よりお慶び申し上げます。

今回の役員改選で役員を退任された皆様には、これまでの会活動へのご尽力、ご功績に対しまして深く敬意を表するところでございます。そして、新たに役員に就任されました皆様には、小竹会長のもと、役員・会員が一丸となって、荻窪法人会の発展のためにご活躍いただきますよう、ご期待申し上げます。

荻窪法人会では、地域に密着したチャリティーコンサートなど様々な事業活動を展開されるとともに、簿記講

習会、申告書作成研修会などの研修会や各種講演会を開催され、昨年2回目となりました街頭パレードにおいては、他の納税協力団体と協力して催しを成功に導かれるなど、納税道義の高揚と税務知識の普及に多大な貢献をされておられます。

また、この度の東日本大震災では、杉並区と災害時相互援助協定を締結している福島県南相馬市への義援金募集にいち早く取り組み、多額の義援金を贈られました。会員の皆様方の心のもった活動には、本当に頭の下がる思いであります。

とりわけ、創立60周年を迎えられた昨年度は、杉並会館大ホールでの参加者1000人を超える特別講演会の開催や、「60周年記念誌」の発行にご尽力され、意義ある60年記念事業を成し遂げられました。

本日、受付において総会資料と併に配布されました「60周年記念誌」には、表紙のサブタイトルに「たすき」という文字が書かれています。長年にわたる荻窪法人会の充実した活動と皆様のエネルギーを「たすき」として次の世

代に引き継いでいただけたらと思っております。

本年度、公益社団法人認定申請に向けた具体的な行動が事業計画に盛り込まれております。今後とも、社会に貢献する公益法人として、更なる発展のためにご活躍されますとともに、引き続き「適正な税務行政の履行」にご協力いただきますようお願い申し上げます。

さて、「e-Taxの利用促進」については、機会ある毎にお願い致しているところでございますが、皆様方のご理解とご協力を得て、昨年11月10日には荻窪法人会を含む荻窪税務連絡協議会において、「e-Tax利用推進宣言」を採択していただきました。

また、本年度事業計画においても、「e-Tax普及率70%」との高い目標を掲げられており、非常に心強い思いがしております。

最後になりますが、荻窪法人会の益々のご発展と会員の皆様のご繁栄、ならびに本日出席の皆様のご健勝を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

# 新理事紹介

今年度は理事改選の年です。新委員長には岸岡秀直厚生事業委員長、山下民子税制委員長が選任されました。そのほかブロック長も改選され、河又雅之第2ブロック長、秦寿吉第4ブロック長、嶋信介第5ブロック長が就任されました。

## 会長・副会長



会長  
小竹良夫  
〔東洋時計(株)〕



副会長  
井口一与  
〔(株)井口鋳油〕



副会長  
保坂房雄  
〔(株)保坂彫刻工業所〕



副会長  
五十嵐 良夫  
〔ジーエスケー(株)〕



副会長  
柴田豊幸  
〔(株)チャイルド社〕



副会長  
志村正之  
〔(株)志村運送〕

## 常任理事(委員長)



総務委員長  
八方淑夫  
〔(株)泉商会〕



組織委員長  
田中晴弘  
〔鳥羽建設(株)〕



研修委員長  
上田仁士  
〔(株)上田技術産業社〕



広報委員長  
鹿野修二  
〔(有)神田裁縫所〕



厚生事業委員長  
岸岡秀直  
〔(株)西部旭建築〕



税制委員長  
山下民子  
〔八千代興業(株)〕



社会貢献活動事業委員長  
加藤敏行  
〔昌英塗装工業(株)〕



e-Tax普及推進委員長  
矢澤規充  
〔(有)春日園〕

## 理事常任理事(ブロック長)



第1ブロック長  
木山濃美  
〔東京標識(株)〕



第2ブロック  
河又雅之  
〔(株)河又〕



第3ブロック長  
榊原 昭  
〔(株)アーバンファミリー〕



第4ブロック  
秦 寿吉  
〔(株)秦工務店〕



第5ブロック  
嶋 信介  
〔八欧産業(株)〕

## 理事



総務副委員長  
松澤和洋  
〔(株)ロードランナー〕



総務副委員長  
小泉憲雄  
〔(有)尚文堂印刷所〕



組織副委員長  
永田政弘  
〔(株)永田商会〕



組織副委員長  
石黒貞男  
〔(有)ヤマトエレクトロニクス〕



研修副委員長  
神谷次彦  
〔東亜紙工業(株)〕



研修副委員長  
齋藤敬子  
〔(有)サン商会〕



広報副委員長  
真野 大  
〔富士商会(株)〕



厚生事業副委員長  
田辺一郎  
〔やよい運送(株)〕



厚生事業副委員長  
竹内勉子  
〔三研マイクロホン(株)〕



厚生事業副委員長  
木村達夫  
〔(株)栄設計〕



厚生事業副委員長  
葛和洋子  
〔(有)ウンタービンゼン〕



税制副委員長  
及川晃司  
〔(有)京樹屋〕



社会貢献活動事業副委員長  
織茂育代  
〔東信水産(株)〕



社会貢献活動事業副委員長  
井上和英  
〔豊多摩通運(株)〕



e-Tax普及推進副委員長  
大石剛生  
〔大總商事(株)〕

## 新理事紹介

### 理事（支部長）



第1支部長  
白田正雄  
〔白田運輸(株)〕



第3支部長  
藤田佳寿子  
〔(有)フジタ建築〕



第4支部長  
山内秀夫  
〔アイユーシー(株)〕



第5支部長  
佐々木 止  
〔(株)第一電工〕



第6支部長  
北出 肇  
〔(株)北出工務店〕



第7支部長  
小俣富一  
〔(有)オマクエステート〕



第8支部長  
稲澤 修  
〔(株)日本ファクシミリ〕



第9支部長  
山崎照彦  
〔(有)佐野〕



第10支部長  
小高延元  
〔サンヤキン(株)〕



第11支部長  
井上徳成  
〔(有)信和プロジェクト〕



第12支部長  
岡 博之  
〔(株)芳文社印刷〕



第13支部長  
渡辺 寛  
〔(宗)熊野神社〕



第14支部長  
国保恵昭  
〔(株)まるや本社〕



第15支部長  
北川昭秋  
〔(有)吉永商店〕



第16支部長  
宍戸一之  
〔(株)プロフェッショナル・ジャパン〕



第17支部長  
山本芳雄  
〔朝日梱包運輸(株)〕



第18支部長  
中原章雄  
〔大新建設(株)〕



第19支部長  
小作力雄  
〔(株)ケーコーボレーション〕



第21支部長  
小野瀬靖子  
〔(有)キィ・ノート〕



第22支部長  
井川泰伸  
〔(有)井川エステート〕



第23支部長  
高木功雄  
〔(有)アヴィラ〕



第24支部長  
高橋正志  
〔(株)ジロンジュエリー〕



第25支部長  
平井政武  
〔(株)都留商事〕

### 理事



理事  
中山一昭  
〔(株)ジャンスポーツ〕



理事  
野田とめ子  
〔野田造園(株)〕



理事  
小笠原秀明  
〔小笠原工務店(株)〕

### 監事



監事  
八重幡清忠  
〔(株)サンメリット〕



監事  
市川忠義  
〔丸二紙業(株)〕



監事  
小笠原庸晶  
〔小笠原工務店(株)〕

# 各委員会

## 総務委員会

副会長	柴田豊幸
委員長	八方淑夫
副委員長	松澤和洋
	小泉憲雄
第1ブロック	山内秀夫
第2ブロック	種子田武隆
第3ブロック	立石健秀
第4ブロック	松澤和洋
	太田哲二
第5ブロック	中島康治
青年部会	宇田川武郎
女性部会	児玉慶子

## 組織委員会

副会長	井口一与	第1支部	木村拓史	第14支部	井垣淑雄
委員長	田中晴弘	第2支部	清水勝利		佐々木浩
副委員長	永田政弘		石田美弥子	第15支部	清水憲三
	石黒貞男	第3支部	小代 勉	第16支部	穴戸一之
	北嶋 宏	第4支部	後藤芳宏	第17支部	畠山和男
	佐々木浩	第5支部	齊藤信夫	第18支部	中原章雄
	畠山和男	第6支部	北出 肇	第19支部	小作力雄
	野村浩司	第7支部	北嶋 宏	第20支部	永田政弘
第1ブロック	石黒貞男		小俣富一	第21支部	丹羽健雄
	清水勝利	第8支部	田中弘治	第22支部	高橋勇次
第2ブロック	北嶋 宏		小俣正彦	第23支部	清水弘道
	田中弘治	第10支部	鈴木裕二	第24支部	早川弘一
第3ブロック	井垣淑雄	第11支部	齋藤俊之	第25支部	野村浩司
	長田 茂		関 昌央	青年部会	住田嘉久
第4ブロック	畠山和男	第12支部	石川邦夫	女性部会	織茂育代
	小作力雄		岡 博文		
第5ブロック	野村浩司	第13支部	鎌田政史		
	野口 淳				
	平井 政武				
	野口 淳				

## 研修委員会

副会長	志村正之
委員長	上田仁士
副委員長	神谷次彦
	齋藤敬子
第1ブロック	神谷次彦
	佐藤政行
第2ブロック	成瀬雅人
第3ブロック	齋藤敬子
	大久保久子
第4ブロック	本田正一
第5ブロック	山寺敏也
	高橋勇次
青年部会	小張正就
女性部会	大久保久子

## 広報委員会

副会長	柴田豊幸
委員長	鹿野修二
副委員長	真野 大
第1ブロック	小代 勉
	皆川信一
第2ブロック	長末真次
第3ブロック	多比良秀俊
	平田祐子
第4ブロック	真野 大
第5ブロック	豊田 哲
青年部会	前田薫範
女性部会	東 文子
相談役	中山一昭

## 厚生事業委員会

副会長	五十嵐良夫	青年部会	水島隆明
委員長	岸岡秀直	女性部会	藤田佳寿子
副委員長	田辺一郎	共済関係	平野知也
	竹内迪子		高橋秀彰
	木村達夫		成木恒寿
	葛和洋子		伊吹恒平
第1ブロック	葛和洋子		
	遠藤修司		
第2ブロック	木村達夫		
第3ブロック	白石弘典		
	中根澄恵		
第4ブロック	大野木潤		
第5ブロック	竹内迪子		
	蝦名光世		

## 税制委員会

副会長	五十嵐良夫
委員長	山下民子
副委員長	小林誉光
	及川晃司
第1ブロック	新井俊雄
	吉本敏久
第2ブロック	小俣 敦
第3ブロック	小林誉光
	滝沢 博
第4ブロック	及川晃司
第5ブロック	小川尚彦
	永田直人
青年部会	岡部昭人
女性部会	三田恵子
相談役	中原章雄

## 社会貢献活動事業委員会

副会長	保坂房雄
委員長	加藤敏行
副委員長	織茂育代
	井上和英
	川元賢一郎
第1ブロック	加藤敏行
	伊藤精人
第2ブロック	町田 茂
第3ブロック	柏原 聡
	村崎小夜子
第4ブロック	宇田川誠
第5ブロック	児玉慶子
	加藤尚憲
青年部会	町田 茂
	中川 一
女性部会	渡辺明子

## e-Tax普及推進委員会

副会長	井口一与
委員長	矢澤規充
副委員長	大石剛生
第1ブロック	石黒貞男
第2ブロック	海野哲寿
第3ブロック	岩倉永一
第4ブロック	大石剛生
第5ブロック	清水弘道
青年部会	柴田夏航
女性部会	市川恵美
委員長推薦	前田薫範



# 新常任理事ごあいさつ

今回の人事で常任理事になられた4名の方にあいさつ文を寄稿していただきました。  
委員会活動やブロック運営などの今後の方針や目標が掲げられています。  
そして初めて常任理事になられた方がたの更なるご活躍が期待されます。



厚生事業委員長  
岸岡秀直

皆さまの厳しいムチと愛の眼差しを期待いたしまして精一杯頑張る所存です

今期厚生事業委員長を拝命いたしました岸岡秀直と申します。

法人会では第1ブロック第4支部に所属、支部長、副ブロック長、副組織委員長をさせて頂きました。歳66を目前に控え、まだ体力には自信がありましても、知力、気力にかな

りの衰えを痛感している日々を送っておりますが、皆さまの厳しいムチと愛の眼差しを期待いたしまして精一杯頑張る所存です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私の生まれは台東区千束2丁目、戦後現在の上井草2丁目に移り60余年になります。戦中、父が中島飛行機に徴用され社宅になっていた現在地で戦後浅草時代の家業である木製のおもちゃ製作で生計を立て、家族・親族総勢8人を養っておりました。

現在、家族は女房、娘、息子の4人で、地元で育った私と同様に、子供達2人も同じ小・中学校生活を送り、娘は現在仕事を引き継ぎ三チャン企業のヌシは死ぬまで働くものだと大口をたたき、息子はLAに移り住んで18年目の今年6月7日に待望の初孫男児が誕生いた

しました。

会社は昭和47年上井草2丁目で防水、塗装の工事会社として設立、現在、土木、建築、コンクリート構造物の維持、補強、補修、の調査、診断、施工、又関連資材の開発、販売に力を入れております。

スポーツは武道が好きで小兵ではありましたが中学生の時から荻窪警察の少年柔道を始めて高校時代まで練習に励み、講道館式段まで、近年唯一取柄の体力保持のため、女房の口撃に対抗すべく合気武道の日々の鍛錬にはげんでおります。

非力ではございますが、荻窪法人会のお役にたてればと思っております。



第2ブロック長  
河又雅之

「楽しい」ブロック、「参加しやすい」ブロックを目標に活動していきたい

この度、第2ブロック長を仰せつかりました、株式会社河又の河又雅之でございます。

昨年度、6支部長と第2副ブロック長を兼務させていただいております。木村ブロック長のもとで、いろいろ経験させていただきましたが、前ブロック長のように、研修会の企画が立てられないと思います。皆様のお力添えを得て、ブロックを運営していきたいと思っております。何卒、よろしくお願ひいたします。

第2ブロックは、6支部から10支部までの5支部からなっておりますが、商店と住宅街が一緒のところ、住宅地のみのところ、などと各支部によって、会員の構成に違いがあります。また、組織率は5ブロックの中で最下位

の数字になってしまいました。

このような現状を踏まえまして、ブロックの活動を考えていきたいと思っております。まず、「楽しい」ブロック、「参加しやすい」ブロックを目標に活動していきたいと思っております。また、この手段として、各支部が数支部ずつ一緒になって活動することをサポートしたり、商店会とのイベントを一緒に行うことに協力して、地域の活動を一緒に作り上げていくことに協力したいと思っております。

皆様の幅広いご協力をお願いして、ブロック長就任のご挨拶とさせていただきます。

## 新常任理事ごあいさつ



第4ブロック長  
秦 寿吉

### 地域との交流を深めて行く事が住宅地の法人会の役目

この度、第4ブロック長を仰せつかりました秦工務店の秦寿吉です。

及川前ブロック長の後ですどこまで出来

るか不安ですができるだけの事をしたいと思えます。

今まで19支部長をさせて頂いておりましたが、これからは西荻、宮前、久我山の5支部と言う事で大変な事になっている事を実感しております。

法人会の特長の一つ、第一には会社経営者の会だと思いますが、その次に異業種交流。各方面の業種の方々の集まりである事。一般には各業種団体の会があるのですが、その経営者たちが集まっている事。今さらながら大変な会である事を認識しております。

荻窪法人会は今、公益社団法人の資格を目

指していますが、前記の事を考えますと法人会が公益社団法人をとれなくてどこがとれるのか。と言う事です。

事務は別として役員が全員ボランティアで、それもあらゆる業種の会社のトップクラスが集まっているのです。

しかし、地域には各種団体がありますが、個人商店や一般サラリーマンにはほとんど関係ない。社長の集まりだろう。ぐらいです。

これからの課題として地域との交流を深めて行く事が住宅地の法人会の役目と思いい、それに少しでもお役に立てればと思えます。



第5ブロック長  
嶋 信介

### 仲間が寄ってくる楽しく明るい第5ブロックを作っていきます

この度第5ブロック長の大任を仰せつかりました八欧産業株式会社の嶋信介です。

第22支部の支部長として長い間活動して来ましたが、なかなか思うように運営できずに皆様に大変ご迷惑をかけたのではないかと危惧しております。支部運営も思うようにならないのに、さらに大きな第5ブロックを纏めることはできないのではと心配しております。

しかし、小笠原前第5ブロック長が嶋の非力を見通し新年度事業計画をしっかりと作成してくれましたのでその事業計画を予定どおり実行して行きます。

また、第21支部長小野瀬さん、第22支部長井川さん、第23支部長高木さんの三人の新し

い支部長と共になにか新しい発想で地元貢献できることを考えたいと思えます。法人会の目的の正しい税務の勉強とともに仲間が寄ってくる楽しく明るい第5ブロックを作っていきます。

## 着任のごあいさつ

7月は署の異動の時期にあたります。1年間で異動される方、2年間で異動される方と期間はまちまちですが、荻窪法人会においては役員会、ブロック研修会、各委員会、各部会で大変お世話になりました。着任された齋藤修荻窪税務署長をはじめ税務署の幹部の方々には、今後多くの研修会で講師をお願いする事になると思います。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



荻窪税務署長  
齋藤 修

社団法人荻窪法人会の皆様方には、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

皆様方には、平素から税務行政の円滑な運営につきまして、深い御理解と多大なる御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の人事異動により、財務省大臣官房秘書課人事調査官から荻窪税務署長を拝命いたしました齋藤でございます。

前任の竹本署長同様、よろしく御礼申し上げます。

荻窪法人会は、創立以来、正しい税知識の普及と納税意識の高揚を図るための啓蒙活動に取り組みとともに、租税教育活動や社会貢献活動など地域社会の発展にも多大な貢献をされていると伺っております。

本年においては、東日本大震災の被災地に

対する義援金の募集活動にいち早く取り組みましたり、杉並公会堂大ホールで1000名を超える参加者の下、アルピニスト野口健氏による特別講演会を開催されるなど幅広い事業活動を展開されておられます。

また、全国的に組織拡大が厳しい状況下ではありますが、組織委員会を中心に力が傾注され、東京法人会連合会の中で組織率が4年連続第2位という輝かしい成績を維持しております。

これもひとえに、小竹会長を中心とする役員の方々と会員の皆様方一人一人が、熱意をもって会活動に取り組みられたまものと、深く敬意を表する次第でございます。

来年度においては、公益社団法人へ移行申請する予定であると伺っております。公益社団法人への移行後においても、これまで長年にわたり培ってまいりました国税当局と法人会との緊密な協関係を進進していくよう取り組んでまいりたいと考えております。

さて、国税庁が推進しておりますe-Taxの利用の拡大について、昨年は荻窪税務連絡協議会の一員として「e-Tax利用

推進宣言」を採択していただき、さらに、本年度の事業計画において「会員企業のe-Tax利用率70%をめざす」という目標を掲げていただくなど、荻窪法人会の積極的なe-Tax利用推進活動に、改めて敬意を表する次第でございます。

今後とも更なるe-Taxの利用推進に力を注いでまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

結びにあたり、社団法人荻窪法人会の益々の御発展と、会員の皆様方の御健勝、事業の御繁栄を祈念いたしまして、着任のあいさつとさせていただきます。

## 幹部のご紹介



法人担当副署長  
中村直樹

# 新ブロック長座談会



## 楽しくないと人は集まらない。 名目だけではなく地域と一緒にコラボを。

新しくブロック長になられた河又第2ブロック長、秦第4ブロック長、嶋第5ブロック長に支部がブロックを支えるのか。ブロックが支部を応援するのか地域によって考えは異なりますが、活性化を目指す目的は同じです。

### 座談会出席者(敬称略)

第2ブロック長 河又雅之  
第4ブロック長 秦 寿吉  
第5ブロック長 嶋 信介  
広報委員長 鹿野修二  
広報副委員長 真野 大

### ■ ブロック長の抱負

鹿野修二 広報委員長 新しくブロック長になられたお三方に来ていただいて、今後の抱負と、各ブロックの運営方法について、お話を伺いたいと思います。

河又雅之 第2ブロック長 先日、2ブロックの支部長会議をやりました。それぞれの支部で何か企画していることは？と聞きましたが、「無い」というので、じゃあ、みんなでゆったりやっというのと。ブロックで何か一生懸命やるのではなくて、各支部、もしくは支部が2つぐらい集まってやることを協力して一緒にやる。先日は、このように感じでした。

秦寿吉 第4ブロック長 前任の及川さんが一生懸命やっていたので、意見を聴きながら継承していこうと思っています。

嶋信介 第5ブロック長 私は、小笠原ブロック長と長い間一緒にやっていますので、それを踏襲しています。今期、各支部長を副ブロック長になっていただいたので、三役会だと、7〜8人集まります。この間も三役会で、年間行事を各支部長がそれぞれ担当してもらおうと。旅行は誰、忘年会は誰、研修会は誰と。支部長が副ブロック長

として担当してもらっています。

萩窪の集まりで一番大きいのは、法人会なので、それをできるだけ楽しく、税務署云々もあるけど、みんなが集まりやすい楽しいブロックにしたいと考えています。

### ■ なぜ、ブロック長に

鹿野 ブロック長が代わられたいきさつをお聞きしたいのですが。

河又 副ブロック長でしたので、会の集まりのときに司会などをやっていたので、会うと、次、おまえだからな、といわれ続けていました。ブロック長の中では僕が一番長いからもう辞めさせてくれという、非常に強い意向がありました。

秦 及川さんから、次、おまえなといわれたけど、半信半疑で。半年前までは、及川さんがまだやるだろうという気でしたら、いきなり役員会で、みんなが秦さんがいいんじゃない？ということになりました。

嶋 小笠原さんは、最初から2期で辞めますよといって、次はおまえやれとあちこちで公言していた。僕は承認していないのに。

鹿野 支部長、ブロック長は、皆さんそれぞれ個性が強い。リーダーシップ

が必要だからかな。

**河又** そんなにリーダーシップがあると思ってません。がんがん引っ張っていくというタイプではないので、ちょっと今までと違うかもしれない。木村さんは、研修会の企画力で引っ張っていくタイプでしたけど、私は、ごくごく控えめです。

**秦** 相続の後、おやじがやっていたんだから、おまえ、支部長をやれと、いきなり訳が分からないでとにかくやってきた。今度はブロック長。申し訳ないんですけど、できることしかできないので、ご迷惑をかけるかもしれない。

### ■ ブロック長は地元に着

**鹿野** ブロック長は委員長と違って、やつぱり地元に着しないといけない。秦 それでまた、第4ブロックは久我山と西荻で、結構広いんです。だから、町が2つが1つになっているみたいな感じで、西荻は1つでまとまって

いるんですが、宮前と久我山、宮前というのは住宅街で何もない。大きな会

社がぼつぼつとある程度。久我山、西荻は、西荻の方が活発に動いているみたいですが、広いので、それをまとめるのは苦勞じゃないかなと思ってます。

**嶋** 小笠原ブロック長は、旅行をするのでも自分で下見に行っていました。美味しい所だとか、何とかの名店に連れていくとか、なかなかそこまでではない。

地区的には、荻窪の駅前と、あとは住宅地です。今回、各支部長さんが活発なので、僕はサポートで済むのかなと思ってます。

**鹿野** 先ほど、支部長が副ブロック長になって、それぞれの行事を担当するという話がありました。やり方として、いいですよ。

**嶋** そうですね。民主的で、みんなが動いてくれないと意味がないので、みんなが動ける体制づくりというか。  
**鹿野** 先ほど河又さんは支部を応援するような体制と聞いていましたが、

今の話、どうですか。支部を応援する

というのと、支部長がブロックを活性化するのは。

**河又** 僕がずっと感じているのは、法人会は全体の行事が多く、支部に一番負担がかかっている。支部がやることをブロックとして一緒にやっていく。西荻地区の2支部で「ハロー西荻」という商店会とコラボしている。6、7支部は八丁の商店会とコラボして打ち水をする。善福寺は、まだ企画はないですが、地元と一緒に出来ることを探している。ほかの支部も協力できることがないか考えているかと思っています。

だから、ブロックで行事を決めてやるのではなくて、支部自体企画してみんなを応援する。

### ■ 支部長とブロック長の世代交代

**鹿野** 今、話が出ましたけど、地域によってやり方が変わる。  
**秦** それで、バラバラという意識があ

ったけれど、4年間、及川さんが引っ張ってくれた。支部はおんぶに抱っこで、それじゃいけないと思っていましたが、支部としては楽だった。今までのブロック長はそれで引っ張っていつてくれたと思うし、ブロック長は2期4年で代わっていますので、一生懸命やると長続きしないということもある。上手な世代交代、4年か6年で代わるのがベストだと思います。それには組織として、そういう体制をつくっていくことが大事だと思います。

**鹿野** ブロック主体になって、支部別の研修や旅行がだんだん少なくなってきました。

**嶋** 支部独自で何かやるというのは少ないです。商店街とコラボという話がありましたけど、地域の特性がないとできない。

**河又** 確かに支部単独だと人数が集まらないので大変です。2支部一緒になってやる。それにもう1つ支部が加わる。ブロックになると大きくなり過ぎるので、2つ、3つぐらいとかで、地域性をいけば、支部としての活性化ができると思います。

支部がうまく回っていかないと、いろんなことが回っていかない。なかなか支部長のなり手が少ないんです。皆さん嫌ってやりたがらない。今年、支



河又雅之  
第2ブロック長



秦寿吉  
第4ブロック長



嶋信介  
第5ブロック長



鹿野修二  
広報委員長



真野大  
広報副委員長



現状を報告。

部長が4人代わりました。

だから、支部長になつてもらいやすい環境をつくらないと、支部自体が崩壊してしまう。

### 研修会も楽しくやる

**鹿野** 地域によって2つの支部が一緒に何かやる。近い支部同士で協力する。

**秦** とてもいいことだと思います。ブロックが5支部をまとめて、支部の行事と一緒に応援する。ブロックが応援できたら5つの行事ができるわけです。  
**嶋** 今までは、ほかの支部に参加を呼びかけるぐらいで、直接応援することはなかった。

**秦** 研修旅行でも、少ないからと、ブ

ロックの方が声をかけて支部を応援する。バス1台集まるから企画が立てられる。

**鹿野** 第2ブロックは、研修会が活発だったんじゃないですか。

**河又** 研修会は人が集まらない。例えば、ブロックの新年会でも20名ちょっと。6、7支部合同で新年会をやっても20何名かで、ブロックも2支部合同でやっても同じぐらい。だったら2支部で動いたほうが違う人たちが集まってくるので、それも方法かなと。

それから、全く研修をやめてしまうのも、いかなものかなという話がある。走りすぎたので、少しお休みさせていたでいて、仲良くなれることを何かしようよと。

**秦** 私が支部長のときはやりました。でも、集まらない。結局ブロックでやるときに、声をかけて行ってもらうことになる。ブロックだと60人参加しましたけど、今は40何人。人を集めるのが大変です。

**花見** をやると、40人近く集まる。楽しければ集まる。法人会をいかに楽しくするのも、目的を考えると、異業種交流は本当にいいと思う。税務の勉強会ばかりではなくて。

**嶋** 前の22支部のときは、年に1回、単独の研修会を、地元の講師で仲間

でやっていました。

**鹿野** 反響というのはどうですか。

**嶋** 参加がいつも12〜13人なので、よ

そに呼びかけても人が集まらない。その辺が限度なんですかね。

**鹿野** それが、ブロックの研修会だと、また一回り大きくなった状態で進めないといけない。

**嶋** 今まで他のブロックの秋の研修会は、2テーマでやっているそうですね。

**鹿野** 税務署の統一のテーマでやることと、2テーマで研修をするところがあります。

**河又** 2ブロックも2テーマでした。ただ、今年の秋は1テーマだけにします。ブロックとしては年に1回、税務署と懇親ができるタイミングで、2テーマだと、時間が取られるので、税務署の講演だけにして、残りの時間は懇親に回します。

**鹿野** 秋は、今までと基本的に変わらない。春の研修会が、場合によってはそれぞれのブロックでやる可能性はあります。

**河又** 予算がつけば、バス研修でもいかなとか思っています。楽しいことができる気がします。無理にどこかの会場に集まって、講演会などをするのではなく、他の方法もあると思います。

**秦** 久我山と西萩で各1回やってい

ます。公民館も予約が取るのが大変なので、スケジュールをかなり前から組まないといけない。久我山は50人集まるところはなく、宮前地区も、学校で行っても懇親会ができない。

**嶋** 我々の地区は萩窪と南萩窪ですが、50人集まるところは線路の南側はどこもない。法人会館を使うか、タウンセブンを使うか、東信閣ということになる。できれば、地元にお金を落としたい。ブロックの中のお店を使いたいけど、適当な場所がない。

**鹿野** 春は特にそうですが、法人会全体でやる方が、ブロックはやりやすいですか。

**秦** 楽という言い方はおかしいけど、その方が間違いなく人は集まる。だから、法人会のイベントとしては、その方が公にして広くできる。ブロック、支部で行っても、内輪だけの話で終わってしまう。全体でやれば法人会はこういう活動をしているのかということになります。

**河又** 野口健さんのような講演会をやってくだされば非常に助かるのと、前に研修委員会で、ブロックで企画するのは大変だから、まとめてやってほしいという意見が出た。研修委員会でやってくださるのは非常にいいと思います。

## 研修会はブロックの活性化に

嶋 ただ楽ですけど、自分のブロックや支部から誰が出てきているのか、名簿でしか把握できない。名簿がない場合もある。

河又 そうですね。今度、講演の後  
にブロックだけ集まってどこかで懇親会をやるのかという話をしています。

それでもしないと、確かに、集まっても結局ばらばらになってしまう。



就任した経緯を説明。

嶋 1000人集まったといっても、誰が来ているか分からない。数としては集まっても一般から何人、法人会員から何人と、その仕分けだけでやってきている。出てきてくれる人の中には新しい人が結構来ると思う。そういう人に声をかければ、ブロックや支部が活性化していく可能性があります。

鹿野 勧奨活動にも使える。

秦 あれだけの大きなイベントになると公会堂に来るのは、わりと来やすいと思います。

鹿野 距離の問題はあまりない。

秦 ポリウムがありますから、内容を見て、行ってみようかということはある。支部やブロックの小さい単位で、西荻でブロック研修会をやっても、久我山の人はこない。久我山でやったらもつと減る。

河又 予算の問題があります。器が大きいと、それだけ予算がかけられるからそれなりの人に来ていただける。ブロックはそんなに予算がないから、うまく探さないといけない。

鹿野 木村さんのセンスというか、あの感覚を研修委員会で吸い上げていくと、また違うと思います。

河又 いい講師の方が来てくださって、それも非常に安価なお金で、集まるのが20人とか25人だと寂しい。もつ

たいない感じがします。

## ブロックとイベント

鹿野 公益法人になって、ブロック単独でやると、非会員が少なくなる。

秦 支部の会員だけでは集まらないから、ご近所の人にポスティングしています。昔は商店街も有限会社が多かったけど、今は法人会に入っているところがほとんどなくなっている。何社もないですよ、久我山では。先ほどの商店街とのコラボも、やりたいけどもなかなかのつてこない。

河又 結局、僕自体が八丁商店会の会計で、北島さんが今、組織副委員長ですが、八丁商店会の会長です。商店会でやるのも法人会でやるのも動く人間は一緒だから、合同でやった方が楽だというのがもともとです。今年で打ち水が6年目になると思います。今「はっちゃん」というキャラクターを作ったので、そのTシャツを作っています。去年辺りから地元の子どもたちが参加してくれています。あとは、商店会と法人会をいかに印象づけるかを考えないといけない。

節電することを考えれば、打ち水をして温度が下がるというのはかなり有効だと思います。

嶋 地元密着でいいですね。全く商店街がないので。駅前の商店街で、平井さんのところだと桃二で盆踊りなどやっています。それと何かやる。そういうことは考えられるかもしれません。

秦 4ブロックですけど、私はつい久我山地域の話になりますが、いろんな団体があります。イベントだけは多いんです。神社と商店街と。

盆踊りと、スプリングセールと、夏にサマーフェスタ、盆踊り。7月、10月はお祭り。ホテル祭りは6月。12月に年末商戦。神社も、初午だといって2月にまたイベントがある。支部長のときも、声かけはしたけど、具体的にはなかなか進まない。

鹿野 そういうところは法人会の出る幕というのがなかなかない。

秦 ないですね。私はホール（旧秦ホール）があったときに、支部で行事をやると近所の人が来ますが、社会貢献という意味じゃ防災くらい。あのホールは、ただでも利用する人がいないんです。それでこの間、家賃を取るのに貸しました。だから、久我山にますますホールがなくなりました。50人集める場所が欲しいのは法人会です。それも地域で欲しいわけです。

鹿野 やっぱり商店街とは違うし、神社とも違うし、そこで法人会らしさを



それぞれのアイデアをだす。

地元に着きさせるといのは難しいですね。

秦 今回は、秋の研修を神社でやろうと思つてます。50人、60人入れるので。ただ、昼なので、どうかなどか思つたりもしますが、しょうがない。

### ■ 組織と加入率

鹿野 恒例というか、ブロックには欠かせない加入率の話ですが。

河又 苦手ですね。難しい。稼働法人調査は各支部でばらばらにやっています。5支部一緒に日にちを決めて、その後どこかへ集まって飲もうよという話になってます。

秦 基本的にはまめに回ることが第一前提だと思います。それは分かっているのですが、それができない。回ると結果は出るんですよ、確かに。

また久我山の話ですけど、とにかく広い。19支部の宮前は、住宅街です。

いくら訪問してもいいでしょう？

そういう意味では西萩の方がまとまっている。区画整理ができて回りやすいです。

嶋 うちの場合は2つに分けてやっていたので、大体2人か3人で一回りしてくる。統計を見ると毎年新しい会社が500〜700社できて、500〜700社なくなっていく。

鹿野 5ブロックは21支部が低め。あと皆さんずいぶん頑張られてる。

嶋 今度、小笠原さんの代わりを小野瀬さん。あの人は振り向いてくれそうな感じの人なので、女性の方がそういった意味では訪問しやすい。

鹿野 河又さんのところは、全体にパーセンテージが落ちていきます。6月の時点で。

嶋 要するに新設法人が入っているからでしょう。3月の時点では入っていないから。

河又 新設が入ったということは、そこから入会の可能性がある。

嶋 加入率よりも、参加率の方がもっと頭が痛い。行事に参加してくれないと、法人会そのものが成り立たない。名目上入っているだけという会社が増えたのではね。それにはできるだけ楽しく、おいしいものを食べてもらわないと。

### ■ 難しい地域もある

秦 富士見ヶ丘は南北の通りがあつて、商店街は一緒なんです。杉並税務署と荻窪に分かれています。富士見ヶ丘の通りは非常にやりづらいんです。東側が杉並税務署、久我山が荻窪税務署。商店街は1つ。だから、まとまりなんかできるわけがないというのが本音です。うちの辺りは、すぐ久我山で、隣は三鷹と烏山と。立教女学院のところも、下の商店街は三鷹です。西萩辺りも隣が、武蔵野で、行政で分けられているが、地域は1つです。地域の中心が、荻窪や西萩のような、核がない。

2〜3年前からバスが走り始めましたけど、1時間に3本。西萩へ行くときだって、井の頭線で吉祥寺に回った方が楽です。

組織委員長がいるから、本当にご迷惑かけてはいけません。

鹿野 委員長は19支部ですか。ここがうまくいったら法人会の加入率はもっと上がりますね。

秦 そういう意味で確かに人間とのつながりなんです。それをいかにモチベーションを上げていくかというのが法人会をいかにどうするかというのに全



部つながってくると思います。ただ楽しくないと動かないけども、楽しいだけでは駄目だと思います。

商店の人は夜8時、9時。私は、朝の5時、6時。基本的に法人会は6時半からと決めていますけども、ずらした方がいいのかなと思ったり。不定期にするとなおさら集まらなくなる。どうしたらいいかとずっと悩んでいます。

鹿野 商店街と普通の会社の時間のずれというのは、どこのブロックでも苦勞されているようなんです。

河又 取りあえず、おもしろく仲良くなれることをやる。今まで、ためになる研修は頻繁にやっていました。ただ、いまいも成果がなかった。その逆を試して、それに研修や勉強会をくっつけていくのがいいのかと思っっています。楽しくを第一にやってみよう。

### ■ ブロック長になって

鹿野 ブロック長になってから法人会に対する考え方・見方が変わったことはありませんか？

秦 私は支部長をやっていたときはブロックにおんぶに抱っこで参加する人だけを集めていた。それが前提だとすると、ブロックが主になって、支部長は副ブロック長でいいと思いま

す。だから、支部の会計はなくてもいい。もっと簡素化した方が。要するに1つ仕事を減らしてくれよと。

ブロックを中心に一生懸命やったらいいんじゃないかな。ブロックが支部の応援をするというのも1つだけども、ブロックが支部を助ける方が、いいのかなと思います。

河又 全体的にやるのが多く、支部の行事を入れられないくらいタイトなスケジュールだと思います。

秦 組織を考えたら支部は非常に大事だなと思うけど、支部は何をやるのかということだと思っ。組織なら加入だけに専念すれば、支部だっって楽だと思っ。それだけやればいいので。研修や勉強会はブロックに任せて。

嶋 僕はそんなに多いとは思っっていないんだけど。だいぶ前に全体を編成し直しました。あのときからすると、参加率がすごい落ちています。研修会といったら大体40人ぐらいしか集まらない。結局会員数からすると10%を切っています。そういう人たちがもつと2割も3割も、地元の人に参加できることを考えていかななくてはいけない。

鹿野 これからあと1、2年ぐらいで公益法人になると思っますが。

秦 参加率を上げるといっことは、50人じゃなくて1000人の会場を用



和やかな雰囲気。

意しないといけなわけです。

嶋 ブロック単位ではおむね500社ぐらいなんでしょう。

鹿野 そうですね。第2ブロックは414です。第5ブロックが438。第1ブロックが549。たぶん第1ブロックもいろんな問題を地域的には抱えていると思っ。

秦 かなり北の方まで、練馬の境までありますからね。

鹿野 そういう意味では第1ブロックは頑張っている。

秦 大ざっぱじゃ駄目だといっことは、私もよく分かりました。きめが細かくしなくちゃいけないといっはつ

くづく感じています。

真野 大変だなと思っ。間に挟まれて、支部と親会とのね。あまり支部が一生懸命やると、また行事も増える。やっていなければやらないといっけないし。

嶋 実際支部としての行事は、1回か2回しかやっていないんでしょう？

河又 6、7支部合同で総会をおそば屋さんでやるんですけど、ちゃんとしたそば会席で飲み放題にして2000円ぐらいでやっっている。そうすると、20名ちょっと集まります。

6、7支部は、そば打ちを一昨年から始めて、楽しいので続っています。あとは打ち水。

嶋 要するに商店街に声をかけてやるといっことですか。

鹿野 第1ブロックも、イベントをやるときに、ブロックで半被を作ったそうです。法人会の半被を着て、商店街に手伝いに行く。法人会が分かるといっので。

秦 チームワークを取るにはいいですね。

河又 そうですね。

嶋 うちのブロックだったら、確かに天沼陸橋から環八の間、一直線ですからね。あそこだけやるといっは1つの手かもしれない。

# 岸岡秀直

## 厚生事業委員長インタビュー

「人生において『誠』と『氣』の二文字を大切にしています」

聞き手／鹿野修二 真野 大

厚生事業委員長に就任した岸岡氏は、保護司、商工会評議員、コンクリート補修業界の全国組織の役員等、多忙を極めるなか、笑顔で「一生勉強です」と、法人会活動に意欲を燃やされています。少年時代の思い出、奥様との出会い、ご趣味や夢の話、そして、委員長としての抱負などをうかがいました。

### 今の自分があるのは 女房のおかげです

岸岡氏がお生まれになったのは、終戦間もない昭和20年9月、台東区千束でした。その後、物心つくころには上井草に住居を移していました。

「四宮小学校、井草中学校と、地元で育ちました。私が子どものころ、自宅の前には、今はもう埋められてしまった井草川が流れていました。当時の上井草は、川や沼があつてヨシが生えていたり、原っぱも結構あつて、遊ぶ場所には事欠きませんでしたね。私はガキ大将で（笑）、ペーゴマやメンコ、缶けり……、毎日学校から帰ってきたら、友達と一緒に外で遊んでました。勉強しろなんて言われませんでしたからね。

中学校へ入ってからは、荻窪警察での少年柔道を始めました。私は、あまり体が大きい方ではなかったけれども、柔道は大好きで一生懸命やっていましたね。学校でも、先輩と一緒に柔道部を作ったりしました」

高校で有段者となり、卒業まで柔道が続けました。卒業後は、タイヤメーカーに就職。勤めたのは5年あまりでしたが、この会社で運命の出会いをし、23歳で現在の奥様と社内結婚をさ

れました。プロポーズのときには「自分には能力を補ってほしい」とお願いしたそうです。

「私は、病氣一つしたことがなく、体力には自信を持っていたんですが、知力に関してはなかなか難しいものがありました（笑）。女房と知り合ったとき、この人なら頭がいいから、私が商売を始めたときに力になってもらえるはずだと思ったんです。もちろん愛情が一番ですが（笑）。それは間違っていないかと思っております。今の自分があるのは、女房のおかげです」

結婚を機に転職した岸岡氏は、いくつかの塗装業に関連のある会社に勤めて勉強を重ねたのち、3年後に独立を果たしました。

### 合気道二段の実力派

#### 夢は「ルート66」走破

会社設立より40年。日本の高度成長とともに着実に実績を積み上げながらも、バブル期などには、はめをはずしかけたこともあったとか。そんなときに、慎重に会社を守ってきたのが奥様であり、心の支えとなったのが二人のお子さんでした。

岸岡氏が「女房の親父の江戸っ子気質をそのまま受け継いでいる」と称する娘さんが、現在は後継者として事業

に携わっています。大学時代にアメリカに留学したという息子さんは、そのまま今もロサンゼルスに住み、IT関連の仕事をされています。

「今年6月には、夫婦で息子のところへ行つて、初孫が生まれる日を迎えました。せつかく孫ができたのに、簡単に行くことができせんから、ちょっと寂しいですね」

「ご趣味は？」とお聞きすると、仕事の付き合いから始めたゴルフを10年ほど前にすっぱりとやめ、今は合気道に励んでとのこと。少年時代に培った柔道の心に通じ、健康のためにと始めた合気道は、すでに二段を取得されています。

また、バイクが好きで、最近までナハンに乗って、奥様を心配させていたようですが、ロサンゼルスへ行った折、ハーレーの展示場を訪れて昔の夢が再燃しました。



「ハーレーで、ルート66を走りたい。できるできないにかかわらず、その夢をずっと胸に秘めていたんですが、今は何とか実現できないかなと思つています」と岸岡氏。奥様の心配も再燃しそうです。

そんな岸岡氏には好きな「字」があるといひます。ひとつは「誠」で、会社設立の折、お世話になった書道の先生に「誠」の一字をしたためてもらいました。もう一つは「氣」。それは合気道だけでなく、すべてに通じるもの。生き方のなかで「氣」は非常に大事であるといひます。ただし氣をしめるのはよくないので「氣」の字は使わないそうです。

「この二文字を頭に置きながら生きたいと思つています。私の人生は、決して真面目ばかりできたわけではありませんが、父から『何をやってもいいが、人に迷惑をかけるな』と言われたことは守っています。ただし、家族には迷惑をかけっぱなしですが(笑)」

## 「一生勉強、一生青春」 自分がどれだけ成長できるか

荻窪法人会への入会は早い時期だったものの、岸岡委員長が積極的に携わるようになったのは、ここ10年くらい

のこと。第1ブロック第4支部の役員として名を連ねたのが最初でした。

「第4支部は歴代の支部長さん、役員さんが、法人会の副会長や理事等をされているような人材の宝庫です。私が支部長のときも、ほかに支部長候補の有望な方がいらつしゃいましたので、私は通常より早く副ブロック長となり、ブロック長となりました。」

また組織委員会では、田中委員長のもとで副委員長をさせていただきました。組織委員会をお手伝いするなかで感じたことは、自分が動かなければ何事も生まれにくいことでした」

法人会に入ってよかったと思うのは、それまであまりつきあうことのないかった業種の人と交流し、さまざまな情報をざくばらんに話してくれる方たちと知り合えたことだといひます。地元、上井草においても、すれ違ったときにあいさつができ、訪ねて語り合う機会もできました。荻窪法人会のみんなが汗を流しながら一生懸命に活動している姿を見ると、改めて本当にいい組織だなと感じるそうです。

「たかが法人会、されど法人会」ですね。今回、厚生事業委員長をお受けしましたが、私自身は法人会での活動歴も短いですし、ご辞退申し上げようと思つていました。ところが、ある方



に相談しましたら、せつかく声をかけていただいたのなら、自分の勉強のために受けたらどうかと助言をいただきました。皆さんには申し訳ありませんが、いい勉強をさせていただく機会と考えて、お受けすることにしました。

ですから、どれだけ私がお役に立てるかというより、自分がどれだけ吸収できるか、成長できるかととらえて、楽しくやっていたいと思ひます。幸い、副委員長をはじめベテランの方々の補佐をいただけますので、肩を張らずに自分らしく務めたいと思つております」

「一生勉強。一生青春」を合言葉に何にでも挑戦しようとする岸岡氏の、今後ますますのご活躍を期待します。



## 第38回 通常総会 特別講演会

# 『歴史と エコロジーから見た 東京の特徴』

講師：法政大学デザイン工学部教授 陣内秀信

平成23年5月24日（火）、杉並公会堂小ホールにおいて荻窪法人会通常総会を開催。陣内秀信氏を講師にお迎えして特別講演会が行われました。イタリアを中心にイスラム圏を含む地中海世界の都市研究・調査を行う陣内氏は、芸術・建築分野において幅広く活躍されています。身近な荻窪の町を別の視点から見直す、有意義なひとときとなりました。

### 【プロフィール】

福岡県北九州市生まれ。1973～75年イタリア政府給費留学生としてヴェネツィア建築大学に留学、翌年ユネスコのローマ・センターに留学。帰国後、1983年東京大学大学院工学系研究課博士課程修了。東京大学工学部助手、法政大学工学部建築学科助教授を経て、現在に至る。特定非営利活動法人建築保存再生研究所理事。中央区立郷土天文館（タイムドーム明石）館長。「東京の空間人類学」でサントリー学芸賞（社会・風俗部門）受賞。長年の日伊の都市研究に対し、ローマ大学名誉学士号を授与された。

### 町歩きの楽しさは「回遊性」

今日のテーマは、いかに東京を楽しく、おもしろく、価値のある街として再発見するかということです。私は団塊の世代ですが、我々が大学生のころ、コンクリートジャングルと呼ばれる東京の町に関心を持つ人はいませんでした。でも、私は日本の都市にも歴史があり、特徴があり、町づくりがおもしろくなるはずだと考えていましたので、それならまったく違う世界に行ってみようと、イタリア、ヴェネツィアに行きました。ヴェネツィアの19世紀中頃の地図を見ると、迷宮のように変化に富んでいて楽しい町で、日本の都市が近代化して味気なくなっていたのと全然違っていました。

日本に戻り、東京の町を歩き発見する組織「東京のまち研究会」を作りました。当時はまだ、コミュニティも下町らしさも町家も長屋も残っていた地域がありました。日本の町は実にうまくできていて、商売をする商人は表に町家を構えている。裏には路地がたくさんあって長屋があり、大工さんや左官屋さんなどの職人さんが住んでいる。その裏手に、新たに台頭してきたサラリーマンの住まいがあつて、それはもともと武家屋敷からきています。東京は、パリやローマ、ミラノなど海外の都市に比べると、江戸

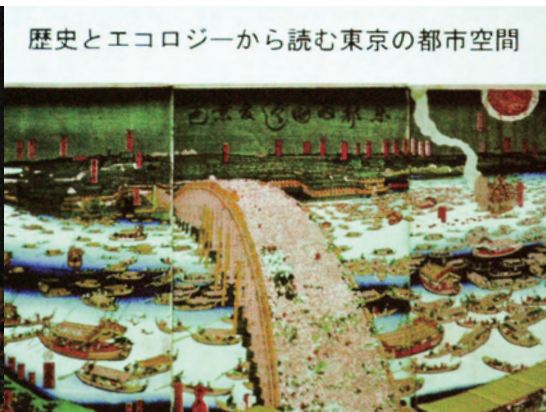
時代の古地図がそのまま敷きになっています。

今から30年くらい前から、どういう町が成功するのかが議論されるようになってきました。それは回遊性、ぐるぐる回る楽しさです。江戸時代の人は、町を歩く楽しさを知っていましたが、日本人はそれをすっかり忘れ、80年代になって再発見しました。あまり基盤目型に作つたような町や、広い道や立派な建築だけがあつてもダメで、いろいろな要素が複雑に絡まり合つてこそ魅力があり、その空間を体験する、感じる、それがいいんです。最近、谷中に人気があります。ここは坂があり路地があつて複雑、井戸があつて生活感にあふれ、お稲荷さんもある、お寺やお墓が多い、洋館などモダンなものも多いなど、一つの模範例です。

### 「水の都市」東京

実は、東京は湧き水が多いところですよ。都心はずいぶんかかってしまいましたが、西のほうには今も湧き水がふんだんにあります。近場では、善福寺川の南に、杉並で最も有名な神社・大宮八幡宮には今も水が湧いています。

こんなに多くの河川が流れている都市も世界で珍しいんです。東京の古い地図を見ると、最初から舟運、船の交通を意



プロジェクターを使いながら写真や図をもとにしたわかりやすい説明。

識して作った水の都市だというのがよくわかります。船の入る港の機能が多く、船着き場もたくさんありました。洪水から町を守りながら、水を上手に生かすことを日本人は発展させました。水の役割は、飲料水、農漁業、舟運、商業活動など数多くありますが、特筆すべきは宗教との結びつきです。湧き水や海の近くに神社ができ、水辺や船で儀礼や祭

事を行いました。芝居町を掘割に面して作るなど、レクリエーションも水と関連するところが圧倒的に多いですね。

日本橋のまわりの歴史をたどると、蘇州かベニスかというくらいに水辺が華やかで、昭和初期の運航図では、江東・墨田は、ベネツィア以上に水上バスが編み目のようにたくさんありました。その後、東京オリンピックを誘致し、世界のトップ都市に仕立て上げようと、高速道路を作りましたが、これは市街地を壊すかわりに、川の流れの上に簡単に作ってしまったんです。水辺は封印されて、船も使わなくなり、汚く臭い場所になってしまいました。

しかし、水辺の活気は意外に早く戻りました。70年代後半からウォーターフロントには住宅ができ、水上バスに人気が出て、ロフト文化というんですが、芝浦周辺や月島などにたくさんあった倉庫がライブハウスやギャラリー、レストラン、ディスコなどになり、話題になりました。これからは水の時代です。我々は、毎年9月に大学対抗のレガッタのイベントを行ったり、7月には水上ジャズコンサートを開いたりしています。

### 古地図を持って荻窪を歩こう

江戸の町があった山手線の内側は、歴

史もあって歩いて楽しいところですが、郊外にも歴史があり、記憶があり、風景のアイデンティティがあります。空気のような存在かもしれないが、そこに意味を発見していくと、郊外もおもしろいことがわかってきました。

たとえば中央線。駅の間所は、偶然決まったというよりはあり得ません。荻窪駅は青梅街道と交わったところ、阿佐ヶ谷駅は中世の古道がぶつかる場所なんです。阿佐ヶ谷駅前のパールセンターというのは古道で、だから、くねくね曲がっているんです。

現在と中世のデジタルマップを比べながら見てみると、神社はいい位置に建てられているんですね。中世には、高台は雑木林で、下に降りていくと裾のところに集落があり、そのエッジの一番いいところにお寺や神社があります。その下が水田で川が流れている。高台は、江戸時代には宅地として利用されていませんが、中央線ができて住宅地がだんだんと開かれたわけです。

中央線をさらに西に行った日野は、今も農村風景が受け継がれています。川辺堀之内地区を見てみると、なんでもない農村の風景ですが、今は本当に貴重になっています。こういう風景は、杉並辺りでは1960年代に入るところまでありましたが、宅地化されて失われてしま

ました。日本の都市は、どんどん農地をつぶして宅地化を進めてきましたが、今やその勢いが止まり、人口も減少傾向にあります。日野市は、起伏に富んだ地形で、掘割や湧き水があり、川も2本ある水の里です。自治体を中心に、全体をうまく生かしながら町づくりをしようという頑張りがあります。

最後に、皆さん、ぜひ荻窪の町に目を向けていただきたいと思っています。荻窪の西側の高台は高級住宅地ですが、そこは、おそらく雑木林でした。では、荻窪の商店街はどういうところにできたのか、そういう歴史を探っていくと、無尽蔵におもしろいことが広がってきます。町の身近なところに自然と歴史を重ねて、町を二つ二つはいていくには、古地図、なかでも明治の地図が非常に役に立ちます。町がどのようになんできたかがわかりますから、ぜひ、明治の古地図を持って町を歩き、荻窪の再発見をしていただければと思います。



講演後に花束を贈呈。



## 第24回

# 今話題の 東日本大震災に係る義援金等

税制副委員長 小林 誉光

このコーナーは、話題になっている税の話や、法改正の話などをわかりやすく解説していきます。こんな話題を解説して欲しいなどご要望があればリクエストをお待ちしています。法人会事務局までご連絡ください。

今回は、東日本大震災に係る義援金の取り扱い（法人の場合）についてご説明します。みなさんの会社で支出した義援金について、税務上の取り扱いを確認してみてください。

### 1

#### 義援金等の相手先を確認しましょう

法人税において、法人が支出した寄付金のうち、次のような指定寄付金等だけが全額損金算入できます。指定寄付金等に該当するかどうかは「寄付の相手先」により決まります。万が一、指定寄付金等に該当しなければ、「一定の限度額計算」があるため、全額損金算入できない可能性があります。ご注意ください。

### 2

#### 指定寄付金等の範囲

指定寄付金等とは、

(1)「国等に対する寄附金」と(2)「指定寄附金」に大きく分けられます。

##### (1)「国等に対する寄附金」

- ① 国又は地方公共団体に対して直接寄附した義援金等
- ② 日本赤十字社の「東日本大震災義援金」口座へ直接寄附した義援金※
- ③ 新聞・放送等の報道機関に対して直接寄附した義援金等で

**最終的に国又は地方公共団体に拠出されるもの**

- ④ 社会福祉法人中央共同募金会の「東日本大震災義援金」として直接寄附した義援金等
- ⑤ 上記以外のもので、募金団体を通じて、

**最終的に国又は地方公共団体に拠出されることが明らかであるもの**

※ 日本赤十字社に対して支払った義援金であっても、例えば、日本赤十字社の事業資金としてのものなど、最終的に地方公共団体に拠出されるものでないもの（財務大臣が指定する寄附金に該当しないものに限り、）につきましては、特定公益増進法人に対する寄附金に該当し、特別損金算入限度額の範囲内で損金に算入されます。

これを見てもわかるように、直接「国または地方公共団体に対するもの」だけでなく、**最終的に「国または地方公共団体に拠出されるもの」**であれば、対象となります。(寄付金や義援金等を集めた団体等に確認してみてください)

## (2) 「指定寄附金」

こちらに該当するものには、次のようなものがあります。

- ① 社会福祉法人中央共同募金会の「**災害ボランティア・NPO活動サポート募金**」として直接寄附した義援金等(平23.3.15財務省告示第84号)
- ② **認定NPO法人**に対し、「**東日本大震災の被災者支援活動に特に必要な費用**」に充てるために行った寄附金  
(その募集に際し、「**国税局長の確認**」を受けたもの)に限ります。)

## (3) 募集した団体に確認するのが一番!

上記の(1)または(2)に該当するかどうかは、その寄付金の相手先に確認するのが一番です。「全額損金算入できる寄付金」に該当するのであれば、領収書または募金の要綱にその旨が記載されていると思います。

不明な場合は、募集した団体等に確認してみるようにしてください。

**「税務申告に必要な証明書等」**を発行してくれるのではないかと思います。

逆に言うと、街頭募金などのように証明できるものがない場合には、損金に算入することができないと思われる。

# 3

## 申告書に記載が必要です

法人税の確定申告書に「寄附した義援金等に関する事項」を記載してください。

具体的には、別表14(2)の「**寄附金の損金算入に関する明細書**」を記載し、法人税の確定申告をする必要があります。

また、「義援金等を支出したことが確認できる書類」を**保存**する必要があります。

今回は、法人のケースを説明しましたが、個人で寄付した場合にも、

所得税法の「寄付金控除」や、住民税の「ふるさと納税」などの取り扱いがあります。

今年の確定申告の際に、確認してみてください。



法人会では、会員の皆様  
の声を税制に反映すべく、  
活動をおこなっています。

税制副委員長  
小林 誉光

# e-Taxの現状

e-Tax 普及推進委員会発行の小冊子「e-Tax booklet」が発行されてから、4年がたちました。「当時とはやり方が変わってきている」とのことなので、e-Taxの現状を調べてみました。また、使い勝手などについても書きたいと思います。

e-Tax 普及推進委員  
前田 薫 範



上はトップ画面、左は法人の画面です。ホームページはとて見やすくなりました。

## e-Taxの現在

e-Taxを始めるには、開始届を出さなければいけません。これは現在、CD-ROMではなく、すべてインターネットから行うのが基本です。さっそく国税庁ホームページ内のe-Taxのサイトにアクセスしてみます。画面のデザインが一新され、とても見やすくなりました。法人での利用が前提ですので、「法人でご利用の方」をクリックします。

この画面も見やすくなりました。目的のページがすぐに見つかりますね。今回は源泉の納付（電子証明の必要がない）を想定していますので、「開始届を提出する」をクリックしてみます。どうやら開始届は書面による提出もできるようですが、ここまで来たらネットの方がメリットがありますね。開始届出書をオンラインで提出した場合は、利用者識別番号等がオンラインで発行されます。（郵送の場合、1週間くらいかかります）

市販の財務会計ソフトを使わない場合、e-Taxソフトはホームページからダウンロードします。パソコンの操作に不慣れな方は、荻窪

税務署のスペシャルチーム「e-Taxサ

ポート隊」に頼むのが良いと思います。そうすれば、小一時間でe-Taxによる源泉納付の準備が整います。

## 使っていて思うメリット

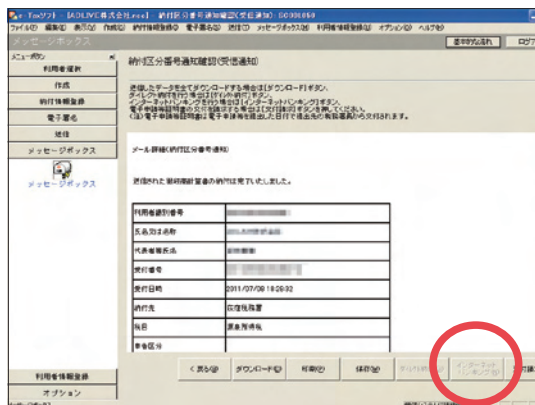
僕が自分で操作して使っているe-Taxは、源泉所得税の納付です。ウチの場合は毎月納めているので、銀行に行く手間が省けるのが良いところ…とりたいところですが、実情は異なります。国税に限って言えばその通りです。しかし、住民税やらなにやらで、結局、銀行には行きますので、そこで終わらせようと思えば出来てしまうのです。それでもe-Taxを使う理由はふたつあります。それは…

- (1) 紙資源の節約
  - (2) ゼロ納付が楽である
- ということなのです。

(1) は、天然資源の節約もそうですが、税務業務におけるコストダウンにもつながると思っています。複写式の伝票は、作るのにコストがかかるからです。これらはすべて、税金でまかなわれているということを忘れないようにしたいですね。

(2) のゼロ納付が楽…というのは言葉通りですが、これは大きなメリ

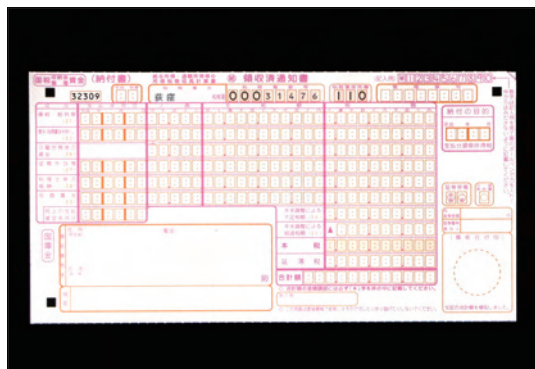
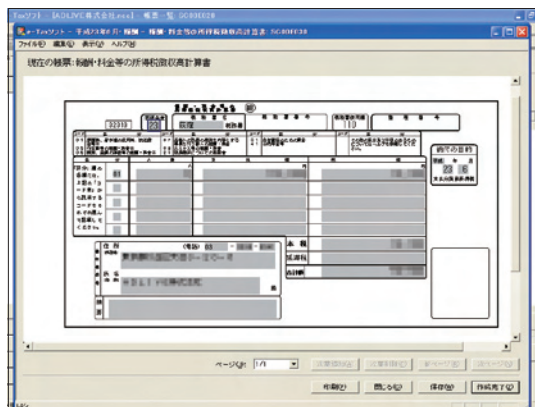




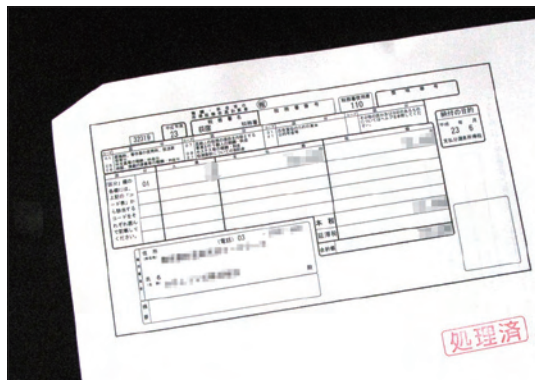
書類作成が終了し、様々な処理を行う画面。ネットバンキングに接続するのも、ここからです。(赤丸部分)

ットだと思っています。といいますが、この納付書は銀行で扱えないからです。わざわざ税務署までいかななくても、ネットからの申請で済んでしまうのは、とつても楽ですね。さらに年末調整による超過税額残額などもメモ欄に残しておくので、とつても便利です。

また、実際の納付に関しては、ウチでは「ダイレクト納付」ではなく、ネットバンキングを利用しています。それでもまったく不自由は感じません。e-Taxソフトで一通りの記入と手続を終えてネットバンキングのボタンをクリックし、いつも使っている銀行を指定すれば、必要な情報が記載済みのページが開き、送信のボタンを押せば、すべて完了となるからです。



見ればわかるという声が聞こえてきそうですが、上がe-Taxソフトの画面。下が実際の納付書です。カラーではありませんが、レイアウトは同じで、入力しやすいです。下の適用欄には、メモを残すことができます。



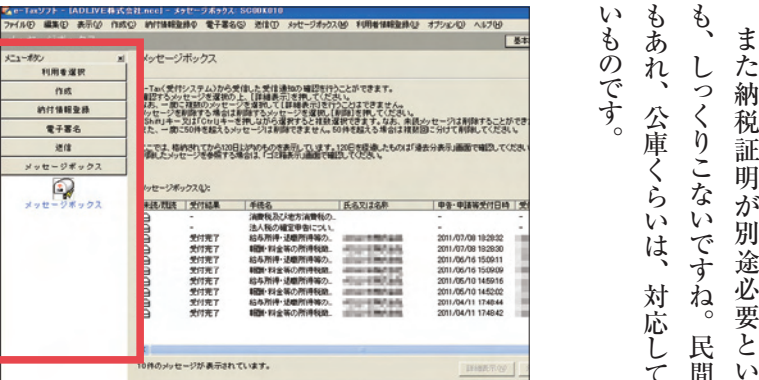
これが画面をプリントしたものです。これを残しておく、なにかと便利なのです。ただし、納税証明にはなりません。

**変わらない操作性**

源泉納付は長く使っているもので、操作には慣れていると思います。しかし、初期の頃から変わっていないというのは、進歩が無いとも捉えてしまいますね。実際の伝票と同じフォーマットで記入できるのは、わかりやすく大変良いのですが、できれば送信までの画面でできないものかと、いつも思います。いちいち左側のタブを押して画面を変えるのは、区役所の中をたらい回しにされるのに似ているような気がします。

**もっと簡素に 使いやすく**

またe-Taxゆえに、納付した後に「紙の書類」が残りません。そういう訳で僕の場合は、納付状況の表の他に、伝票入力画面をプリントしておくようにしています。この方が、今までと同じ様式なので、わかりやすいのです。これは変わらないことのメリットでしょうか。



伝票入力も送信も、システム内では別の作業らしく、いちいちウィンドウを切り替える必要があります。こういう基本的なところが、改善されないですね。

# e-Tax 推進税理士事務所について

e-Tax利用向上を目指し、東京税理士会荻窪支部の先生方全員にアンケートを実施しました。  
その結果多数の先生方から「e-Tax推進税理士事務所」として会報掲載に承諾をいただきました。

日頃は法人会活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

e-Tax普及推進委員長 矢澤規充

さて、現在、当法人会活動の大きな目標のひとつにe-Tax普及推進がございます。

当法人会では**会員企業の70%**利用を掲げております。

この目標を達成するためには会員皆様方の多大なご理解と同時に税理士先生方のご協力が必要不可欠と考えております。

そこで当委員会では、前年末に引き続き東京税理士会荻窪支部の先生方全員にアンケートを実施いたしました。

質問内容は「顧客よりe-Tax代理申告・送信利用の依頼が来た時に、依頼通り行なって頂けるか？」

更に依頼を行なうとご回答いただいた先生方に「e-Tax推進税理士事務所として会報に掲載させていただいてもよろしいか？」との問いを発したところ前回より20名増え、合計77名の先生方より快く承諾をいただきました。このように税理士会においてもe-Tax普及推進に積極的に取り組んでおられます。そこで会員企業の皆様にひとつお願いがございます。顧問の先生に「先生、うちの会社社の決算は電子申告でお願いしますよ。」と一言おっしゃっていただけませんか？

顧客である会員企業様と実務を担当する税理士の先生方がタッグを組んで初めてe-Taxという行政の合理化が大きく進展していくと思います。何卒皆様方の尚一層のご理解とご協力をお願い致します。

## 東京税理士会荻窪支部 e-Tax推進税理士事務所(敬称略)

地域	氏名	住所	事務所連絡先	
井草	山岡朋枝	井草2-35-12 グランドメゾン 杉並シーズン2-409号	5310-3228	
上井草	久保木浩志	上井草2-25-7上井草 グリーンハイツ3-205	5303-4823	
	田崎 浩	上井草3-21-16	3399-7733	
下井草	近藤健一	下井草1-5-17	3390-9437	
	稲村仁了	下井草3-29-10佐藤ビル302号	5382-2711	
	藍野和男	下井草4-1-6	3397-5118	
	田鍋裕子	下井草4-30-18-203	6915-0397	
	田子周一	下井草4-33-12田子珠三事務所内	3395-3355	
	山田 純	下井草2-11-16	3399-5670	
	鈴木百香	下井草4-32-9	3399-1555	
今川	中村良三	今川3-8-4	3399-3976	
	中村行雄	今川3-8-4	3399-3976	
西荻南	尾崎繁幸	西荻南2-6-6エルフ西荻1階	3332-7351	
	尾崎正俊	西荻南2-6-6エルフ西荻1階 尾崎繁幸事務所内	3332-7351	
	河野修兵	西荻南2-9-13	5336-6457	
	小野寺昭市	西荻南2-23-8	3333-4868	
	林 健行	西荻南3-5-3-202	3335-0432	
	松田正博	西荻南3-14-11和興ビル3階	5346-1181	
	塩谷治道	西荻南2-19-10美光ビル203号	3331-1151	
西村克彦	西荻南2-19-10	3331-1151		
西荻北	馬場義男	西荻北2-3-9コメットビル5階	3394-5922	
	殿塚明夫	西荻北2-5-20-201	5382-5229	
	鈴木吉郎	西荻北2-6-6YS西荻3F	3301-5101	
	山本哲郎	西荻北2-12-2西島ビル201	5303-6371	
	東原 功	西荻北3-14-18 ラーバンプラザ401	5936-0055	
	廣瀬一俊	西荻北3-20-12グッツィオソ西荻窪B1	3399-0180	
	荒谷美佳	西荻北2-11-12エートピア 番館202号室	5303-5781	
	丸山文雄	西荻北2-11-4エクセリア西荻201号	3397-2770	
	福田都介	西荻北2-11-4エクセリア西荻201号	3397-2770	
	濱 正昭	西荻北3-32-11	3395-4121	
	村林秀則	西荻北3-11-3サンコート西荻窪115号室	6423-0566	
	上荻	山室文雄	上荻1-5-8直長ビル302	3392-9462
		吉原敬三	上荻1-11-3アペイユ神秋602号	3391-2881
大矢勝昭		上荻1-16-3森谷ビル4階	3391-5588	
小林誉光		上荻1-17-10 シンフォニーアングラテ荻窪602	3391-1044	
本橋喜久雄		上荻1-21-23-602	3392-5555	
小島麻里		上荻1-23-19小嶋東神ビル4F	6913-0520	
小澄事務所		上荻2-19-18 2階	5347-2066	
和田 実		上荻4-19-22 上荻永谷マンション603号	3395-1131	
岡田 茂		上荻4-23-9	3395-3111	
穂坂正積		上荻1-18-14-206	3393-7571	

地域	氏名	住所	事務所連絡先
清水	山本敦子	清水1-7-2 ネイバリングハウス荻窪303	5397-6492
	小口元一	清水2-11-10	3394-8391
天沼	桑山 務	天沼1-2-3	3398-1316
	黒川えり	天沼1-17-3	090-8479-0152
	酒井幸三郎	天沼1-40-6	3392-5455
	池上敬子	天沼1-41-6	5932-5128
	岩倉永一	天沼3-2-2 荻窪勤業ビル2階	3392-0157
	岩倉礼子	天沼3-2-2 荻窪勤業ビル2階	3392-0157
	原田叔法	天沼3-2-2 荻窪勤業ビル2階	3392-2170
	篠原あずさ	天沼3-3-2-701	6794-7334
藤村 茂	天沼3-23-23 カーミリア荻窪202	6231-1701	
能澤寛一	天沼3-27-2 荻窪MTビル1階	6383-5610	
本天沼	小野寺誠	本天沼2-41-8	5303-1680
松庵	大槻一弘	松庵3-31-7 コート西荻206	6795-8420
久我山	小松原英二	久我山5-7-8	3333-0003
	杉本洋子	久我山5-8-23	5370-8518
宮前	稲澤 聡	宮前5-10-5	3247-7194
	小松原英雄	宮前5-7-19	3331-3266
	石原恵子	宮前1-16-23 杉並宮前ロイヤルハイツ304号	3334-1305
荻窪	日高進也	荻窪3-45-3	3392-6731
	千葉繁樹	荻窪4-32-3 AKオギクボビル401	050-5527-4372
	山本文則	荻窪4-32-4-704	3220-7132
	丸山良尚	荻窪5-9-17	3391-6309
	三好秀胤	荻窪5-14-4 武蔵野マンション502	3393-2671
	中村喜一	荻窪5-17-11 荻窪スカイレジタル216	5347-9930
	大島康司	荻窪5-21-16-1204	3392-6553
	大久保豊	荻窪5-13-6 丸新マンション306号室	3398-8812
	茂木 信	荻窪5-25-6	3393-0211
	上角 孝	荻窪5-25-12-204	3392-6595
	岩崎智香子	荻窪5-30-12 グローリアビル1101号	3392-1198
	伊藤佳江	荻窪4-21-4荻窪ローヤルコーポ104号	3394-1123
	茂木 信	荻窪5-25-6	3393-0211
	横山貞夫	荻窪4-21-11三吉ビル3A	6410-5310
森脇雅子	荻窪2-20-7-504	5397-8026	
早乙女和子	荻窪	3391-7626	
南荻窪	加藤悦子	南荻窪3-27-5	3247-7300

# 青年部会

## 第37回 通常総会

青年部会 副部会長 水島隆明



右) 出席者で集合写真。左上) 議長の岡博之部会長。左下) あいさつする小笠原秀明新部会長。

### 新部会長に小笠原秀明氏が就任

平成23年4月19日、東信閣において第37回通常総会が開催されました。親会より小竹会長ならびに志村副会長、また荻窪税務署より竹本署長、渡部副署長、永田統括国税調査官、藤井審理担当上席国税調査官にご出席をいただきました。総会は岡部会長の挨拶にはじまり、平成22年度の事業報告・決算報告、平成23年度の事業計画・予算計画、任期満了に伴う役員改選と全ての議案についてそれぞれ原案通りに承認され、滞りなく進行いたしました。総会の最後に小竹会長ならびに竹本署長からご祝辞を賜り、柴田副部会長の挨拶で終了いたしました。引き続き同会場で行われました懇談会では小笠原新部会長のあいさつに始まり、渡部副署長のご祝辞も頂戴し、賑やかな懇談の場になりました。岡さん、2年間お疲れ様でした。

# 女性部会 第35回 総会

女性部会 副部長 織茂育代



右) 議長の野田部会長。左上) 講師の小竹会長。左下) あいさつする竹本署長。

## 伝統を受け継ぎ、明るく、美しくをモットーに

3.11 東日本大震災から1ヶ月余の4月14日、東信閣に於いて、女性部会第35回総会が行われました。

総会の前日の講演では、『荻窪法人会の60年の歴史』という題目で小竹会長の講演がありました。

小竹会長から女性部会に対し「35年の伝統を受け継ぎ、明るく、美しく、女性部会として活動してください。」とお言葉をいただきました。

第35回総会は、荻窪税務署より竹本署長、渡辺副署長、永田統括官、藤井審理上席。

法人会親会からは、小竹会長、保坂副会長にご出席をいただきました。

議事に関しては、女性部会会員数49名、出席者27名、委任出席数22名と定足数に達し、野田議長(部会長)の采配で満場一致で可決いたしました。無事に総会を終了することができました。

そして、懇親会が始まりました。今年は女性部会恒例のカラオケ大会も自粛ムードの中カットになりました。幹事の方もカラオケがないので一抹の不安があったようですが会員の皆様のご協力もあり、皆様わきあいあいと楽しいトークで盛り上がりました。

今後とも、小竹会長のお言葉の伝統を受け継ぎ、明るく、美しくをモットーに女性部会に協力していきたいと思っております。

# 源泉部会 第37回 総会

源泉部会 幹事 三澤次郎



右) 総会の様子。左) あいさつする小竹会長。

## 第37回定時総会開催される。

4月13日(水)東信閣にて多数の出席者の中、第37回定時総会が開催されました。総会は3部構成で行われ、第一部では荻窪税務署の永田恵子法人課税第一部門統括官講師による「源泉所得のはなし」の講座があり、続く第二部において鹿取幹事の司会で第37回定時総会が開催されました。

総会は河又雅之荻窪法人会源泉部会長の挨拶に続き、小竹良夫荻窪法人会長から皆勤賞、精勤賞の授与があり、それぞれの受賞者に記念品が授与されました。

続いての議事では第1号から第5号議案までの

○平成22年度事業報告 ○平成22年度収支決算報告及び監査報告

○平成23年度事業計画案 ○平成23年度収支予算案 ○役員改選

について各部部长、副部长から提議され、審議の結果、全ての案件について賛同を得て決議に至りました。

最後に来賓として出席された小竹会長、竹本節子荻窪税務署長から祝辞を賜り、定時総会は滞りなく終了しました。続く第三部の懇談会は岩崎副部长の司会によって開宴となり、河又部会長の挨拶に続いて退任される方々への記念品の贈呈が行われ、保坂副部长の乾杯の発声で和やかな雰囲気懇談会へと移り楽しい時間が過ぎてゆきました。最後は鎌田健二副部长の手締めによって会は御開きとなり、全員が平成23年度に向けた荻窪法人会の結束を確認しました。

# KOUSEI JIGYO

## 厚生事業委員会

### 第21回 異業種交流会に参加して 会員同士が有意義な交流を

厚生事業委員 藤田佳寿子

7月5日、タウンセブンで53社が参加して行われました。

私は今まで2、3回参加させてもらっていましたが、役員になっては初めてです。まず、五十嵐副会長のあいさつで始まりもつと仕事に役立つ異業種交流会にと、そして新任の岸岡委員長の会員さんがよろこんで参加出来る交流会にと、お話されました。

1 社ずつ持参したパンフレットを使いながらPRしていただきました。本場に知恵のある宣伝聞いているだけで役に立ちました。そして、色々な職業があるのだと感心しました。次に懇親会は、竹内副委員長の乾杯に始まり、普段会う事のない方々と交流が出来、名刺交換が始まりました。食事をしながらうちと

けて、とても楽しい雰囲気です。参加者の方からこれから少しでも仕事につながる企画を考えてほしいと言われました。次の交流会は、11月17日(木)です。未加入法人の方にもつと声をかけ入会していただければと思います。



あいさつする岸岡新委員長。

# JOSEI BUKAI

## 女性部会

### 楽しい研修会 健康で若く美しく

女性部会 幹事 児玉慶子

6月16日、東信閣の会場に、20枚のマットが敷かれ、女性部会「楽しい研修会」ピラティスが始まりました。山中不動産(株)の長嶋礼子さんよりピラティスについての説明をいただき、その後、ニューヨーク・



「ティアピス」の研修会の様子。

ブロードウェイで活躍の場をお持ちの真鍋隆司(Ryuuji)先生にご指導いただきました。

ピラティスとは、体の内側の筋肉を鍛えて体を引き締めるエクササイズで、横になれるスペースさえあれば、どこでも、道具を使わなくてもできます。ピラティスは初めてという参加者も多く、なかなか思うように体が動かなかった方もあったようですが、先生が丁寧にご指導くださったので、正しい呼吸法や、「インナーマッスル」と呼ばれる体の内側にある筋肉を鍛えていくことの大切さを、皆さまにもわかっていただけたと思います。これからもここで教えていただいた事を忘れずに、毎日の生活の中で、自分なりの呼吸や筋肉を意識していきたいと思えます。その後の懇親会では、ビールと色とりどりの美しい松花堂弁当をいただきました。運動の後の一杯、そしてお食事は、いつにもましておいしく感じられました。皆さま、どうもありがとうございました。

# GENSEN BUKAI

## 源泉部会

### 源泉部会 野外研修会

#### 「小江戸とちぎ蔵の街」へ

源泉部会 幹事 岩崎篤弥

平成23年7月6日(水) 今回の野外研修会は、栃木市の「小江戸

とちぎ蔵の街」へ、部会員の日頃の行いが良いおかげで当日は晴天に恵まれ、遅刻・欠席者も無く早朝、集合場所である「杉並公会堂」を定刻通り出発。野外研修ということで、途中車中にて事前に荻窪税務署の永田統括・小野田上席に用意していただいた税金クイズを使っ

てしっかりと研修を行いました。ここで一つ、今回の税金クイズの一例を紹介したいと思います。【問：映画「アンタッチャブル」、「ゴットファーザー」などで有名なアル・パポネは、禁酒法違反で逮捕されたことがある】 《答えは× アル・パポネは脱税したことで所得税法違反の罪で逮捕されたことがあります》

永田統括・小野田上席ありがとうございました。

途中、栃木県出流町にあります出流山満願寺(いずるさんまんがんじ)に立ち寄り見学を行いました。満願寺では先の東日本大震災の影響で山の断崖に造られた奥の院等が改修工事を行ってあまり見学はできなかったのですが、住職の話の中で以前、國定忠治の隠し子がお寺に住んでいて幕末期に政府軍との戦に参加し戦死したが、遺族は名を変え今も山の麓に住んでいる。という地域の方々しか知らない貴重なお話を聞けました。

その後「小江戸とちぎ蔵の街」へ移動し、栃木市内を流れる巴波川(うずまきがわ)の遊覧船や、古い蔵の内装を改修した創作料理屋さんにての昼食、郷土資料館や山車会館等蔵の町を散策いたしました。



「蔵の街」で集合写真を撮る皆様。

した。私事ですが、栃木県は日光や足利・宇都宮・鬼怒川等は行ったことがあったのですが、今回の栃木市の蔵の街は初めてでとても楽しく観光することができました。

源泉部会は源泉税の他に今回のような野外研修やボーリング大会、皆様のお役に立つ研修を行っています。研修会には是非ご参加頂き、情報収集や他社との交流を深め、一緒に勉強していきましょう。



7月例会「講演会」  
講師・青年部会担当副会長  
志村正之

「旅のすすめ part II」

青年部会 幹事長 水島隆明

今年度初めの例会は、恒例となりました青年部会担当副会長による講演会を行いました。前期2年間お世話になりました志村副会長に引き続き御担当いただくということで、二度目となる御講演をい



講演する志村副会長とその様子。

ただぎました。会場は、コピス吉祥寺にありますガーデンレストラン BOTANで、屋上庭園を望む素晴らしいロケーションで30名を超える部会員の参加をいただきました。御講演は前回に続いて「旅のすすめ part II」と題し、志村副会長ご自身の旅の経験から得られたお話を伺いました。ニューヨークからロサンゼルスまでのアメリカ大陸を車で横断されたエピソードをお聞きしながら、アメリカの大スケールの自然に思いを馳せました。「自分が行きたいと思ったらなんとしてでも行け！」と熱く語りかける副会長から行動することの重要性を改めて学びました。講演後の懇談会では小竹会長に乾杯の発声をいただき、部会員同士それぞれの旅の思い出話で交流も活発になりました。

## 使用済みカートリッジ・トナーで被災地支援を 「エコキャップ」で子どもたちにワクチンを

社団法人 荻窪法人会  
会長 小竹 良夫  
広報委員会一同

日頃より広報委員会の活動にご協力いただきありがとうございます。

会員の方々には60周年記念誌の制作にあたり原稿の依頼や写真の提供に快く賛同頂きました。不備なところや満足のないところもあるとは思いますが発行に漕ぎ着けることができました。これも皆さまのご協力が有ったのことに感謝しています。紙面上ではありますが、心より御礼申し上げます。

この度、広報委員会では天沼中学校区地域教育推進協議会の要請を受けて「**インクカートリッジとトナーカートリッジの回収**」に協力する事になりました。

この運動は天沼小学校の生徒とPTAが中心になって使用済みのインクカートリッジとトナーカートリッジを回収し、ベルマーク教育助成財団を通じて「**東日本大震災で被災した子どもたちへの支援活動に役立つ**」ためのものです。直接リサイクルに回すよりもぜひ、ベルマークを取得して被災地に役立つ活動へご協力ください。

●回収インクカートリッジ・トナーカートリッジは以下のメーカーの使用済みの純正品です。

・キャノン ・エプソン

インクカートリッジ・トナーカートリッジ、キャップの回収方法はお手数ですが、

法人会事務局 (TEL3392-1338・FAX3391-8388) へお届けいただくか、各支部・ブロック等の研修会やその他会合で事務局の職員が出席している場合は渡していただくと助かります。

◎回収先：法人会事務局 (杉並区天沼3-7-3・担当：柳沢)

【その他の運動への協力の要請】

天沼中学校生徒会：天沼中学校生徒会では「エコキャップ」の回収運動を実施しています。「ペットボトルのキャップを再資源化し、CO2の削減を推進しよう」「発展途上国の子どもたちに、ワクチンを届けよう」の趣旨のもと生徒が取り組んでいる活動です。この活動にも是非、ご支援ください。